

# 義太夫

## 代々木の広くて深い杜

新春を迎え、皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

毎年、東京の初詣での方が多く出ることでは有名です。一昔前は、仕事の関係でNHKの「紅白歌合戦」を拝見し、帰路まだ暗いうちに神宮に初詣でに出かけるのが恒例行事でした。真々暗な闇のなか、玉砂利のザクザクという音を耳にしながら参道を歩く気分はいかにも正月らしく、森の中に一歩入ると清々しい身の引き締まるような気分にとらわれます。

た息抜きの出来る場所があることを、いつも有り難く思っています。いつぞや、NHKのテレビの「明治神宮の森」を観て、この森が今から約九十年前に作られた人口の森であること、多くの方々の丹精のおかげで武蔵野の原野の面影を今日大都會の片隅に残してきたという話を印象深く拝見したことを思い出しました。

### 波多一索

松、桧、榎など実に総数九万五千本に及ぶ樹木が、北は北海道から南は当時の台湾までの全国各地から無料で献木され、今ではそれらが十六万本にまで成長していることを知り、その壮大な計画に今更のように驚かされました。

神宮の森の設計者では、初めての近代的公園である日比谷公園の設計をされた本多静六

### 義太夫協会会報 第88号

平成21年1月1日

社団法人 義太夫協会発行  
〒104-0045 東京都中央区築地  
1-12-16 松竹会館別館3F  
TEL・FAX (3541) 5471  
<http://www.gidayu.or.jp>

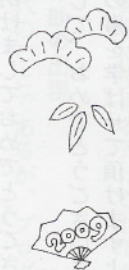
氏や、のちの東京農大名誉教授になられた上原敬二氏などが知られております。

その計画はまことに緻密なもので、例えば風の強いことが多い東京オリンピック選手村の方位には、強風と砂塵の被害が及ばぬように厚い樹林帯に相応しい樹木が選定されています。一方、中心となる社殿のあたりは自然の林を出来るだけ生かして、檜、松などの森厳な森を作るための植栽が、厳格に実行されました。

秋には落葉が地表を覆います。肥料をやらずとも、この落葉が堆積腐敗して理想的な土壌となり、樹木はその養分でまた育つことになり、管理の方々は、毎日参道の落葉を拾い集め、森の中にもどすことにより樹木の成長の自然な肥やしにするばかりか、豪雨に対しては土砂の流失を防止するよう配慮しておられます。

また、外国産樹木類は採納しないこと。要するに東京地方固有の原始的な森林状態を作るために郷土を異にする樹木を林苑に加えることはしないといった細かい配慮もなされております。

こうした神宮の森の説明をTVで聞きながら、伝統芸能の保存育成にもこうした細かい配慮がすべてにおいて大切なのではないかと、改めて年の初めに感じた次第です。



# 加身春 なごち年賀状

○新しき年の初めいかがお過ごしでしょうか。本年も義太夫とともに歌舞伎をごひいきに願ひ上げます。  
葵太夫

○一歩一歩、気を引き締めて進んでいきたいと思ひます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。  
綾一

○新事務所で新年を迎えて、おめでとう。法人化した時の事務所は本牧亭、それから実に八度目だが、これは末広がりと解ましよう。  
綾太夫

○今年も多難な幕明けになりそうです。皆様のお力添えをいただき努力して参る所存です。  
綾之助

○上京の際に持参したテレビがまだ現役です。地デジの切替までもう少しがんばってくださるといいのですが。  
賀寿

○昨年中は大変お世話になりました。有難うございました。平和で穏やかな一年でありました。賀津女  
○あけましておめでとうございます。今年も飛躍の年にしたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。  
寛也

○明けましておめでとう御座います。本年も皆々各位様のご健勝とご一家のご息災をお祈り申し上げて居ります。清太夫

○あけましておめでとうございます。一歩づつでも半歩でも前へ進んでいきますように氣力を持續できるよう頑張ります！  
京之助

○賈、賈、賈の世相を一刻も早く洗い流し、心からおめでとうと云える年にしたいですね。本物を目指して……  
幸治

○今年も貯金に励みます……励みたいですが……できれば……できるかな……  
越京

○菅原を胸にもうでて牛の年(越)  
本年もよろしくお願ひ申し上げます。越孝  
○師匠のように、健康維持・体力増強につとめます。  
越春

○この年まで元氣なのも義太夫やってるおかげ。語りたいものがたくさんあるので、健康でいられるようにいつも願っています。  
越道

○旧年中は大変お世話になりました。今年「学而不倦」の言葉を胸に一日一日を大切に勉強して参ります。  
越若

○昨年十二月に男の子が生まれました。今年もちろん義太夫を子守唄に(?!?)  
駒清

○今年も意欲的に活動し、飛躍の年にしたいと存じます。  
駒治

○新年おめでとうございます。今年も健康に留意し、一つ一つの舞台を大切に勤めて参りたいと存じます。  
駒之助

○謹賀新年。今年一年「自らの分をわきまえること」を心得として過ごそうと思ひます。本年も宜しくお願ひいたします。  
三寿々

○今年も新年明けましておめでとうございます。  
慎治

○新年あけまして、おめでとうございます。今年も多くの事を学ばせて頂きますように。  
谷太夫

○時代は移り変わっても、変らぬは人の思い……。その様な思いを伝えてゆける語りが出来るようになりたいと思ひます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。  
土佐恵

○目まぐるしい世の中。憂があり情(じょう・なさけ)！のある世間と我が身でありたいと思ひます。  
土佐子

○謹賀新年。元旦は言問橋近くの牛島神社へ。丑歳だけの牛の御守をゲット！その後三囲神社から向島七福神巡りも楽しい。下町正月ガイドでした。  
津賀榮

○すがすがしいお正月をお迎えのことと存じます。本年も、私を含め、皆様がおだやかにすごせますようにお祈りいたします。  
津賀寿

○あけましておめでとうございます。一歩でも前進できるよう今年も努力を重ねたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。  
津賀花

○あけましておめでとうございます。アツという間の一年、年寄の冷水、健康に氣をつけて頑張ります。今年もどうか宜敷くお願ひ申し上げます。  
友路

○新年おめでとうございます。今年も日々穏やかに過ごせるよう、心がけたいと思ひます。  
道太夫



八月一日より四日まで (六時半開場)

鈴ヶ森素丸	鈴ヶ森素丸	鈴ヶ森素丸	鈴ヶ森素丸	鈴ヶ森素丸	鈴ヶ森素丸	鈴ヶ森素丸	鈴ヶ森素丸	鈴ヶ森素丸	鈴ヶ森素丸
野崎素八	野崎素八	野崎素八	野崎素八	野崎素八	野崎素八	野崎素八	野崎素八	野崎素八	野崎素八
本下素八	本下素八	本下素八	本下素八	本下素八	本下素八	本下素八	本下素八	本下素八	本下素八
酒屋新素	酒屋新素	酒屋新素	酒屋新素	酒屋新素	酒屋新素	酒屋新素	酒屋新素	酒屋新素	酒屋新素

山名屋素丸	山名屋素丸	山名屋素丸	山名屋素丸	山名屋素丸	山名屋素丸	山名屋素丸	山名屋素丸	山名屋素丸	山名屋素丸
御所新素	御所新素	御所新素	御所新素	御所新素	御所新素	御所新素	御所新素	御所新素	御所新素
太坂新素	太坂新素	太坂新素	太坂新素	太坂新素	太坂新素	太坂新素	太坂新素	太坂新素	太坂新素
上野新素	上野新素	上野新素	上野新素	上野新素	上野新素	上野新素	上野新素	上野新素	上野新素

電話下谷(03)13137

には月だけで年が書いてない、ご本人に尋ねても、同じ番組に名を連らねている土佐子さんに聞いても正確なところはわからない。わかっていることは、自ら「未だ年少」と挨拶している駒之助さんは四日間のすべてで結びの演奏を三生の三味線で勤めたことである。駒之助の登場はベテラン揃いの女流義太夫界に強い刺激を与え、反響を呼んだ。土佐廣は「この子は違う」と言い、素女は一門の結束、引き締めを図ったという。故素八から聞いたことである。

七 竹本素八のこと

昭和四十年代の後半からしばらくの間、なぜか義太夫から離れていたようである。その私を義太夫に、本牧亭に引き戻したのは素八である。あれは昭和五十三年の暮れだったかと思う。例年の通り「忠臣蔵」が二日間にわたって語られた。一日めは三段目の「師直」、判官は素丸であった。特別のことはなかった。でも、あすも聞き来ようという気にはさせた。二日目は「五段目」、あのよくしゃべる定九郎と与市兵衛。つまらないといえればつまらない場面である。歌舞伎の定九郎にならされて

柳遠	柳遠	柳遠	柳遠	柳遠	柳遠	柳遠	柳遠	柳遠	柳遠
白旗	白旗	白旗	白旗	白旗	白旗	白旗	白旗	白旗	白旗
紙屋	紙屋	紙屋	紙屋	紙屋	紙屋	紙屋	紙屋	紙屋	紙屋
新口	新口	新口	新口	新口	新口	新口	新口	新口	新口

電話下谷(03)13137

上野本牧亭

いる者にはかなりくどい。そこで私はひたすら語り続ける素八に打たれた。洒落って気もなければ、うまく語ろうとたくむこともない姿、こんな人が、こんなむきになって語る人がいたんだと心底思った。それから素八さんを聞き続け、つきあいを深めた。

土佐廣の「日蓮記」で素八は「日朗」を勤めた。私は誘って下総中山の法華経寺に参った。日朗さまがちゃんと語れますようにと祈っての帰り、中門のあたりで師匠土佐廣への土産を買った。その煎餅の選び方も真剣だった。師に対する敬慕の思いを尽くして品定めをしているのだ。

ものごとをついでにしない素八。私はたぐいまれな人に会えたと思った。

「箱根の滝」を語った時には一人で、塔の沢の阿弥陀寺まで出かけた。とんでもない山の中腹まで登って行ったのである。水野賢世住職は「法芸一如」の書軸を贈って下さった。芸団協の賞も受け、勲五等も栄誉も得た。しかし、残念なことに腰を痛め、義太夫の真っただ中で死ねなかった。この稿を進めている時、朝重さん逝去のことを知った。朝重さんは義太夫に生き、義太夫に死んだ。素八・朝重ともに真剣に義太夫に生き、尽くした人である。しかし、朝重さんは苦しみながらも舞台を勤め、語り語り続けて義太夫の中に終焉を迎えた。素八さんにももっと語ってほしかった。(おことわり、私の個人的感情にかかわるところ以外では、師匠方のお名に敬称をつけなかった。)

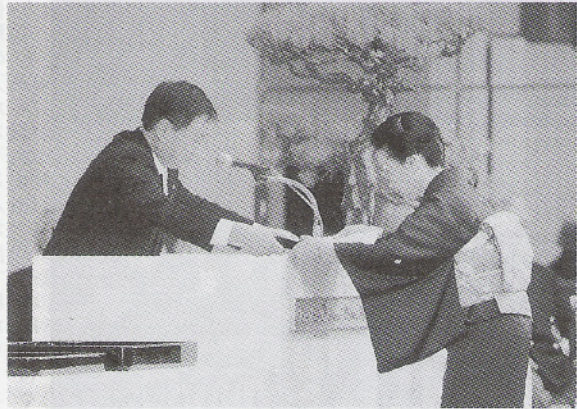


### 竹本駒之助が旭日小綬章を受賞

二〇〇八年十一月三日、政府によって秋の叙勲受章者が発表され、義太夫協会副会長の竹本駒之助が、旭日小綬章の受章者に選ばれました。

伝達式は十一月十三日、グランドプリンスホテル赤坂にて行われ、駒之助は旭日小綬章受章者の代表として表彰台に上って授与された。

駒之助「これまで、義太夫関係の師匠方で、代表でお受け取りしたというお話をおうかがいしたことがございませんでしたので、誠に驚くとともに、緊張致しました。本当に有難いことと、感謝しております。」



### 義太夫・三味線一日体験教室開催

今年度の第二回、義太夫・三味線一日体験教室が、八月三十日、両国回向院にて開催されました。

語りは竹本駒之助、三味線は鶴澤三寿々(一回目)と、鶴澤津賀寿(二回目)が講師をととめ、延べ約六十名の参加者が義太夫で汗を流しました。

参加のきっかけの多くは、義太夫協会のホームページや、劇場でのチラシ。「正座が大変」「手が痛くなった」というおなじみの意見もありましたが、結局「舞台に立つ人の気



持ちがよく分かりました」「憧れの義太夫を体験できて嬉しい」という結論に。この体験教室をきっかけに、そのまま義太夫教室中級に合流した参加者もいらっしゃいます。

#### 〈参加者アンケートより〉

- ・こんなにエネルギーが必要だとは思いませんでした。走った後のようです。
- ・息一杯に声を出す、なんと力強い語り芸かと思いました。
- ・「三重」の説明など、学校で習った音楽とは違う一面を感じました。
- ・音に意味があることを知って驚きました。
- ・少数で教わりたくなりました。

乙女文楽学校巡演

鶴澤津賀榮

十一月三日より二週間、ひとみ座乙女文楽の学校巡演に同行させていただきました。ひとみ座十名、義太夫四名で九州を九ヶ所廻る旅でした。紅葉を楽しめるような日もあるだろうかと期待していたら大誤算！玄界灘との数々の闘いが待ち受けていたのです。

まずは「波も荒いが気も荒い」と歌われる小倉の町に。少々とまどいながらもまずは一公演。その後すぐにフェリーで玄海灘に船出

しかし難関は数日後。小さなチャーター船に乗り込み、縦揺れ横揺れの一時間の航行。全島民二百人の小さな島への移動でした。小、中学校の児童、生徒合わせて数十人なのに意外と体育館がいっぱいだったのはおじいちゃん、おばあちゃんが集まってくさったから。まさに島をあげての歓迎ぶりにつらい航行も忘れる思いでした。その後は順調に長崎、熊本、再び福岡と旅程をこなしていきました。

さて、公演の様子はどうかと、「鳴戸」短縮版、人形の解説、代表生徒による「三番叟」発表、「戻り橋」というプログラム。前もってワークショップを行ない、公演までに練習を積んだ代表者が「三番叟」を発表するという企画は大好評。「戻り橋」は小学生には長すぎたか？という印象。戦い始めると途端に目を輝かせてはいましたが。

最後の玄界灘の思い出は福岡、海の中道。左手は荒々しい玄界灘、右手は穏やかな福岡湾という珍しい景色を眺め、旅の表裏を象徴しているなと思いつきながら帰途につきました。

\*道行の会 ご報告\*

さる十一月八日をもちまして、「義太夫を音楽としてよみがえらせる会」通称「道行の会」3回シリーズ公演を、無事終えさせて頂きました。これもひとえに皆様方のご支援の賜と、関係者一同、心より感謝しております。朝日新聞、日経新聞などにも取上げて頂き、また邦楽評論家の笹井邦平氏が「邦楽の友」に詳しい記事を載せて下さいました。

会を発足するきっかけを下さり、会名を考え、ノーギャラでナビゲーターをつとめて下さった作家・橋本治さんのおかげで、義太夫初体験の方がたくさんお出でになり、「女流義太夫もなかなか面白い。それに難しく考え



(寛也提供)

ないで、まずは聴いて楽しめばいいんだ！」と感じて下さったことが、一番うれしかったです。

鶴澤寛也・鶴澤駒治

◆プログラム(敬称略)

会場 新橋 28<sup>th</sup> GINZA (ニッパースキンザ)  
ナビゲーター 橋本治 (作家)

司会 (第2弾・3弾) 矢内裕子 (ポプラ社編集者)  
第1弾 二〇〇八年五月三日『仮名手本忠臣蔵』

道行旅路の嫁入―綾之助・土佐子・寛也・駒治・賀寿

第2弾 二〇〇八年八月九日『義経千本桜』

道行初音旅―綾之助・土佐恵・駒治・寛也・賀寿

・賀寿

第3弾 二〇〇八年十一月八日『妹背山婦女庭訓』道行恋亭環―綾之助・土佐恵・越若

・寛也・駒治・賀寿

ぎだゆう座 初春公演

1月10日(土)

開場 午後1時  
開演 午後1時半

三味線組曲・触れ太鼓・相撲甚句・釣女  
出演 呼出し三郎・越孝・駒治他

会場前にて清酒の振舞いをさせていただきます。御来場をお待ち申上げております。

昨年11月3日に竹本朝重師が逝去されました。  
謹んで御冥福をお祈り申し上げます。  
二月七日(土)午後一時より両国回向院において百箇日法要をとりおこないます。



### 【略歴】

昭和二四年 竹本小土佐に手ほどきを受く  
昭和二五年 小土佐倶楽部にて初舞台  
昭和三三年 四世鶴澤重造に入門  
昭和三六年 二代目竹本朝重を襲名  
昭和五八年 社団法人義太夫協会副会長

平成 八年 紫綬褒章  
平成十三年 第21回伝統文化ボーラ賞受賞  
平成十四年 第四等宝冠賞受賞

### ほんに気がメクリヤス(六杯目)

鶴澤慎治

今一度確認をいたしますと、義太夫狂言とは「現在一般に文楽として認知されている人形浄瑠璃」義太夫節にのって人形を操るという形で上演される演劇—を歌舞伎が取り入れたもので、長い歴史の中で、生身の人間が上演できるようにアレンジされ、多様に渡る歌舞伎演目の中でも、重要なレパートリーとなったもの—そして竹本とは「義太夫狂言の輸入元である人形浄瑠璃の音楽」義太夫節を、歌舞伎の舞台で演奏する職分で、劇・ドラマにおけるナレーションの役割として説明されるが、元々は語り物の三味線音楽で、浄瑠璃の一派である義太夫が変形・アレンジされたもの—です。

竹本義太夫が出現するまでの百年弱ほどの間、歌舞伎では、まず京都四条河原での出雲の阿国に始まり、遊女歌舞伎、これが禁示されると若衆歌舞伎、これも御法度となつて、物真似狂言尽くしによる野郎歌舞伎と変遷していきます。

これを現代の(あくまで仮の)出来事として置き換えるならば、最初はかわいイアイドルが舞台に出てセクシーな踊りを披露していたものが、それがだんだん風営法に引っかかるような営業になっていったために営業停止

になり、「男性の出演者によるお芝居」という名目で営業の再認可を取り付けた、というようなことなるうかと思えます。

つまり、スターが舞台に出てきて、「わーかっ可愛い(可愛い)！素敵！」だけではすまなくなり、芝居をするようになるわけですから、ショーの段取りだけでなく、どうしても本格的な台本、ストーリーが必要になってきていた、その所へ人形浄瑠璃の流行があり、歌舞伎の芝居小屋の客足に影を落とすようになります。

そこで歌舞伎の興行師が採った営業策は、「今流行っている人形浄瑠璃をそのまま取り入れる」ことでした。これが、人形浄瑠璃が歌舞伎に取り入れられたきっかけ、始まりです。

実際、当時の宣伝文句にも「筑後掾芝居(竹本座) 正本通り」つまり竹本座でやっている人形浄瑠璃とそっくり同じことを人間でやっていますよ、とうたつて客を集めたわけですよ。

これは、現在漫画やアニメで人気のあるものを、ドラマや映画の原作にするのと全く理屈は一緒で、制作サイドの立場で考えれば、まず、完成した物語があるわけですから、話や設定を考える必要がない。しかも、俳優個々人の事情・都合に関係なく作られた筋なので、物語としての完成度が高い。スポンサー





11月4日～17日	乙女文案中学校公演出演
北九州市湯川中学校・宗像市大島中学校	
福岡市小呂中学校・長崎市西浦上中学校	
諫早市小野中学校・玉名市玉南中学校	
福岡市野芥小学校・福岡市西戸崎小学校	
福岡市志賀島小学校	
11月8日	人間国宝の芸を聴く会 於国立小劇場
11月8日	道行の会 於ニッパーズライブ
11月14日	常務理事会 於協会資料室
11月19日	理事会 於演芸場楽屋
11月19日	女流義太夫演奏会 仮名手本忠臣蔵 於国立演芸場
11月26日	邦楽演奏会番組編成会議 於(財)古曲会事務所
11月28日	臨時総会 於本郷稽古場
12月1日	事務局長会議 於芸能花伝舎
12月1・2日	「ぎだゆう座」公演 二日間 仮名手本忠臣蔵 於上野広小路亭
12月3日	編集会議 於協会資料室
12月6日	第八十九回 大日本素義会 於鳥越神社白鳥会館
12月18日	女流義太夫演奏会 障害者の為の特別公演 仮名手本忠臣蔵 於国立演芸場
12月22日	事務所移転
1月1日	会報88号発行

「義太夫節。教員免許更新講座に」

来年度から始まる教員免許更新制の実施にあたって試行講習が日本芸術文化振興会(国立劇場)で七月二十二日から四日間、35才、45才、55才の教員を対象に行われた。受講生約100名「伝統芸能にみる日本の心」と題して、能楽、歌舞伎、文楽、邦楽、日本舞踊、琉球芸能、民族芸能、寄席芸について、講義、鑑賞、体験など、多方面の角度から学べるものでした。邦楽の体験には、義太夫節が取り上げられ、演目は「卅三間堂棟由来」より木遣音頭の段太夫、三味線が一組となって約二時間、実施されました。「無知で興味のなかった文楽の講義と気の重かった義太夫体験が最も、おもしろく、ワクワクした」「貴重な体験が出来た」「後継者を育てる心意気を見習いたい」「正座が「つらい」かなり満足度の高い感想が寄せられました。修了認定試験が、最終日に行われ、全ての日程が終了いたしました。(竹本土佐恵)

国立演芸場 女流義太夫演奏会

年 月 日	曜
21年1月22日	木
3月4日	水
3月19日	木
4月22日	水
5月26日	火
6月23日	火
7月22日	水
8月19日	水
9月17日	木
10月27日	火
11月19日	木
12月17日	木
22年1月19日	火
2月23日	火
3月29日	月

開場 6時  
開演 6時半  
月により日程が違います。  
ご注意ください。  
どうぞよろしく  
お願い申し上げます。

義太夫節 CD・DVD 好評発売中!!

人間国宝女流義太夫 竹本駒之助の世界

平成18年から20年にわたって収録した全10曲を11枚のCDに収めました。

監修・解説―竹内道敬

税込定価 ￥34、650

竹本弥乃太夫 義太夫曲節集

文楽や歌舞伎、舞踊などの情景描写に用いられる旋律の数々。それらを情景ごとに分類し、演目の実例を交えて紹介します。

DVD 5巻+解説本

税込定価 ￥29、400

詳細は協会にお問い合わせ下さい。

義太夫協会事務所移転のお知らせ

〒104-0045  
中央区築地一―二―一六  
松竹会館別館 3F  
TEL・FAX〇三―三五四―一五四七―  
e-mail am-giday@gidayu.or.jp

《今後の予定》

1月8日(3月26日)

義太夫教室61期上級

於TKビル

1月10日

ぎだゆう座初春公演

於お江戸両国亭

1月22日

女流義太夫演奏会

廓文章 吉田屋の段

竹本綾之助、鶴澤津賀寿、鶴澤賀寿

釣女 車人形西川古柳座出演

竹本駒之助、鶴澤寛也ほか

於国立演芸場

1月31日

第六回 素浄瑠璃の会

鶴澤三寿々勉強会 於お江戸日本橋亭

2月11・18・25日

悠遊ライフ芸能講座

義太夫を語ってみよう 講師 竹本土佐恵

於芸能花伝舎

2月14日

壺坂観音霊験記

人形と浄瑠璃で紡ぐ愛の物語

竹本越若、鶴澤駒治、鶴澤賀寿

八王子車人形 西川柳時ほか

於ニッパースライプ

2月24・25日

紀尾井人形浄瑠璃

女流義太夫の新たな世界

加賀見山旧錦絵 草履打・長局・奥庭

於紀尾井小ホール

3月1日

都民芸術フェスティバル第39回邦楽演奏会

第一部 新版歌祭文 野崎村の段

竹本綾之助、鶴澤寛也ほか

第二部 壺坂霊験記 山の段

竹本駒之助、鶴澤津賀寿、鶴澤寛也

於国立小劇場

3月4日

女流義太夫演奏会 伝承者研修発表会

新版歌祭文 野崎村の段 於国立演芸場

3月7日

義太夫教室OB演奏会

於スペースFS汐留

3月12日

第2回 日本音楽大集合

於国立文科劇場

3月19日

女流義太夫演奏会

仮名手本忠臣蔵 お軽の人生を追う

池田弘一 監修

神田きらり 解説

於国立演芸場

4月19日

第6回はなやぐらの会

竹本駒之助、鶴澤寛也、三浦しをん

矢内賢二 於紀尾井小ホール

7月21日

橋本治と共に女流義太夫を楽しむ会

竹本駒之助、鶴澤寛也、鶴澤津賀寿

橋本治 於奏楽堂

〇松岡美術館に於いて一月六日から四月十九日まで「宮前秀樹と文楽の世界展」が開催されます。

期間中、美術館所蔵宮前氏の描いた文楽人形の作品および、創立者・松岡語松氏(協会発足時にご尽力頂きました)使用の見台床本などが展示され、文楽メンバーによるイベントも予定されています。

《訃報》

ひとみ座乙女文楽を40年にわたり指導された桐竹智恵子師が、昨年9月22日逝去されました。謹んで御冥福をお祈りいたします。

《寄贈品》

竹本連中三味線方 上がり糸

《寄付》

出月 清人様 五万円  
大日本素義会様 三万円  
池田弘一様(祖先祭) 一万円